

S&Uだより

safety & useful 発行 No293

2022年4月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

考えればこれが普通なのかもしれませんが 北陸では四月になってから 長かった冬の気配もようやく終わりを告げて桜の開花もはじまり 一気に春めいております。専門家によると コロナは第7波が到来したという事で また感染者数が増えてきたという状況ですが 年度末でもあり 入社、入学等 晴れやかな式典も人数制限等はあるものの開催されています。切羽詰まった危機感は薄れ なんとなく穏やかな日本です。しかしながら、海外に目をやれば 毎日痛ましいニュースが飛び込んでまいります。

数万人ともいえるウクライナでの殺戮を いともたやすく「フェイクだ」と言い切る国の代表陣、友好国である中国は「殺戮の映像」は放映せず ロシアの主張を正しいと報じ 情報の統制も含め 戦争の恐ろしさを 目の当たりにして 身震いする思いです。「戦争」といえば 複数国が お互いの国を攻撃するさまが思い浮かびますが ウクライナとロシアのそれは 一方的に攻め込んでいる・・・やはり「侵略」としか思えない行為です。

もともと 同じ連邦国だった場所で 独立させてやったのに 最近ではロシア側のいう事を聴かずに 西側と仲良くなって 敵対しようとしているのはけしからん！ ちょっと脅して 全体を親ロシア国にしてやろう！

ウサギの首根っこを噛んで「いう事をきけ！」と言っているトラのようです。その条件は すべてロシア側に有利なものです。「それでは 承服できない」と返答すると どんどん軍が国に進行して根こそぎ破壊し 一般市民もどんどんと犠牲になっていく・・・泥沼のような日々が続いている現状です。

戦争とは、広辞苑によると・・・「1.たたかい。いくさ。合戦。2.武力による国家間の闘争。のことです。」とあります。

たとえば友達や家族とけんかになってしまう時はどんな時でしょうか。一つしかないものをひとりじめしたい時や、他の人よりたくさん物が欲しい時に争いが起こります。では、それが人と人ではなく国と国だったらどうなるでしょうか。戦争や紛争が起きる原因として考えてみると、ウクライナだけでなく 現在も世界のあちこちで戦争や紛争が起きています。「紛争」というのは戦争よりも少し規模が小さい争いごとのことです。まず、戦争や紛争の種類を大きく5つに分けて、その原因を考えると

1つ目は「民族」の争いです。民族の異なる人たちが、その考えの違いから争いを起こすことがあります。

2つ目は「宗教」の争いです。信じる宗教の異なる人たちが、その考え方の違いから争いを起こすことがあります。

3つ目は「資源」の争いです。金やダイヤモンド、石油やウランなど、鉱物資源が出る国では、それをめぐる争いが起こることがあります。特に、武力で人を支配しようとする「武装グループ」が争いを起こすことが多く、グループ同士で戦ったり、一般の住民に暴行したりして、鉱物を独占し、お金を得ようとします。

4つ目は「政治」の争いです。例えば、ひとりや少人数が政治を独占する「独裁政権」が続いた時に、住民がその政治に反対して、国内の争い「内戦」を起こすことがあります。

5つ目は「領土」の争いです。例えばアフリカの場合、ヨーロッパの国がアフリカの国を支配する「植民地」の時代に、ヨーロッパの人たちの都合で勝手に国が分けられました。この時ひかれた国境線が実態と合わず、はっきりしないことが多いことから、国同士が領土を主張する紛争が起こることがあります。

紛争が起きるとどうなるの?と 小学生が大学の先生に質問したところ・・・「戦争や紛争が起きると、その国に暮らす人たちは、住むところを失い避難します。多くの人が「難民」として安全な場所を求めて移動します。子どもたちは、教育を受けることができなくなり、児童労働の問題が増えます。また国が国としての機能を失うと争いが長期化します。すると国の経済がストップしてしまうので、国も人々も貧しさから抜け出せず、悪循環が生まれてしまいます。」と答えました。幸い、今の日本には紛争はありませんが、世界にはこの悪循環から抜け出せずに苦しんでいる人たちがたくさんいるのです。

焦土が広がり 無垢の人々が犠牲になっていく。無力な私たちは 彼らの安息を ただただ祈るばかりでございます。

マルジン 4月のカレンダー

＜モノルールレンタル料(賃料)の一覧表＞

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

「モノルールレンタル料(賃料)の一覧表」
本年4月に改訂されております。
ご入用の方は
マルジン(0778-27-7200)までご連絡ください。
大きく 価格が変わっています！！

2022年4月第293回は～アナログと電子化のはざま～について

ロシアのプーチン大統領は 超がつくアナログな人で インターネットも使えない？使わない？らしい。側近から聞くのが現時点の戦況で ネットも見ないから 世界各国で入手できる ロシアに対する非難も 悲痛なウクライナの人々の叫びも 何も耳に入っていないらしい。側近は 本当の事を伝えると自分に身の危険が迫るので プーチン大統領が望むような回答しかできない。「苦言を呈する」人は 「いない」のだそうな・・・。

ネット社機に飛び交う情報は いつも正しいとは限らない。まさしく フェイクも多い。しかしながら、常に自分が正しいと思っている人には 他の情報は必要ないのかもしれない。コロナ禍で リモート会議も増え 私たちの業界の安全大会なども リモートが増えている。ゼレンスキー大統領は 国会でも国連でもリモートで演説されていた。情報戦では ロシアより勝っているようお様だ。

今月は 3年間私たちと仕事をともにしてくれた ベトナム実習生が旅立った。一時帰国して また戻ってくる人が3名、1名はマルジンを離職し 違う職場に就職する。また 新しくマルジンに就職された方もいる。もろもろの手続きを「電子申請」するわけなのだが・・・窓口ならその場で「受理」のハンコがもらえるのだけど 電子申請は 早くても2日 遅いと1週間以上戻ってこない。昨日 電子申請の問い合わせ窓口で 電話で聞いたところ「年度末で ものすごく込み合って 臨時に人を雇って対応してはいるが まだ3月の分も終わらないので 待ってください」と言われた。

「電子」なのに「狼煙」のようで 悲しくなる。普通「急ぐ場合は 混雑しない電子申請」のはずが・・・「急ぐから窓口へ持っていきましょう」なんて 納得がいかない。何か 受付の代わりのものがあればいいのだが システムを構築するとき それは考えていなかったのだろうか？電子化っていうと 今とは便利になる！と思いがちだけれど 何故か今より作業が増えて大変！なんていう 不思議な仕組みはいろいろある。「これがないと現場に入れなくなる」という「建設キャリアアップシステム」作業員のキャリアを生涯を通しバックアップしていくために作られたシステム・・・。

いろいろな資格を自らが 登録して キャリアを積み上げることで ステータスが向上し 選択肢の増加 給料の増加につながり 働き方が改革されるのだそう。しかしながら 本来自分で登録して キャリアアップをはかっていくのだが 誰が自分で登録するだろう？すべてお金である。お金をかけて手間暇かけて 誰もしたくないだろうなあ～と思う。

登録代無料！とかいうサービスをつけて始まったものの思ったほど登録者数が伸びず 赤字額が膨大になり 全ての料金を高く価格変更した。

2023年から「義務化」と言われると 個人でなく 会社で建設キャリアアップに社員を登録(マルジンも全社員登録)それでも まだまだ加入数が 予定していた数字に届かないようなので 今度は・・・

「行政書士のみなさんに 無料で建設キャリアアップシステムの仕組みや 登録のやり方をお教えます。リモート

で無料講座へ申し込んでください」と 載っている。

「建設キャリアアップ」と インターネット検索すると 出るわ出るわ「私たちにお任せください」「大変な登録作業をメール一本でお引き受けします！〇〇行政書士事務所」「登録しないと こんなデメリットがありますよ！」と ともかく「数字を増やす＝一件いくらの手数料」と まるで行政書士事務所でないで登録できないですよ というような勢いである。

大変なのは そんな登録作業ではなく 登録してからなのに そちらのことは少しも書いていないので なんあだかなあ～と 気落ちしてしまう。

ともかく これひとつで統一ということなら 何も文句もない。自社で きちんと頑張れる。ところが・・・

ビルディ グリーンサイト ウィズダム LINE WORKS・・・元請様それぞれが「うちはこの支援システムで提出して」という システムが20以上あるらしい。

例えば 健康診断が済んだら、新しい資格を取得したり更新したら、住所が変わったら・・・全部に同じ様に 登録しないとイケない。

建設キャリアアップシステムに登録して ポンと押せば連携されるのであれば 楽なのに。ほんの少しの違いがあると まったくうまくいかないらしい。

マルジンの5、60人の登録ですら お客様の指定のシステムにも登録していると なかなか大変。

今までも 全国統一施工体制台帳にしても 統一とは名ばかりなところもあったし・・・

CALS/EC(公共事業支援統合情報システム)に至っては いったいどうなってしまったのだろうか？「電子入札」と「電子納品」の2つが実施された。工事を例に挙げると、工事の始まりの行為としての入札・落札の情報の電子化(電子入札)と、工事結果(工事の場合、結果は構造物そのもの)になるのだが、

ここで、まずは入り口と出口の電子化は進んだわけだけれど、その中間、つまり施工中の情報化はどうなっているの？との疑問がわく。それに関しては CALS/EC 部会が毎年行っている電子納品に関するアンケートによると、本来工事着工前に実施されなければならない電子納品に関する発注者との事前協議を、「竣工直前に行った」という現場が15%、「事前協議が行っていない」という現場が14%だそうで。。。

つまり、約3割の現場では、従来通りの紙での納品を前提とした仕事が行われていたことになる。さらに言えば、竣工直前に事前協議を行った15%の現場では、完工直前に紙資料を電子化し納品していることになる。これでは、作業の合理化にはつながっていない。かえって電子化する仕事が単に増加することになっている。

不思議なのだけれど・・・「建設キャリアアップシステム」の運営は この建設 CALS/EC と 同じく 一般財団法人建設業振興基金が システムの構築 運営をされている。お願いだから 利害関係より 現場で実際に額に汗して手を動かす人たちの使いやすさを重視して 統一していただきたいと願うばかりだ。